がんサポーティブケアのご紹介

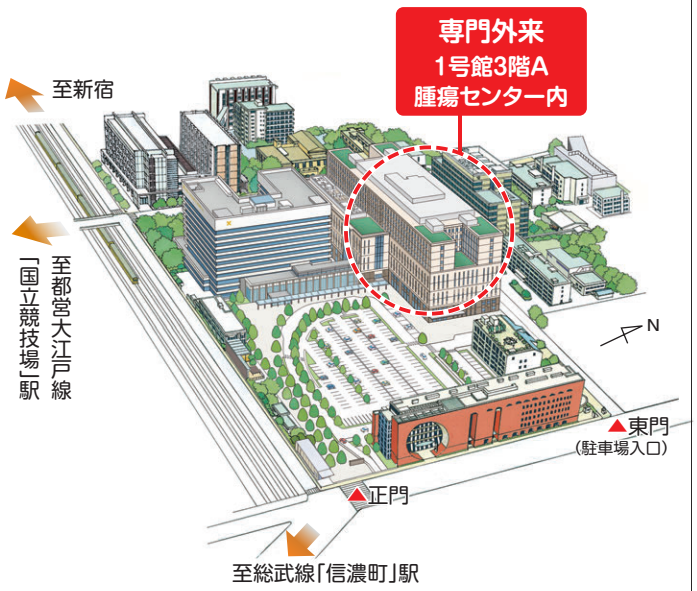
口腔機能ケア外来

がんリハビリテーション外来

緩和ケアセンター外来

　がんサポーティブケアは、がんに伴う症状や治療の副作用などを和らげるケアです。
患者様の症状に応じて、上記の専門外来を受診することができます。
（1号館3階A 腫瘍センター内）

診察をご希望の方は、まず、担当医にご相談ください。



■交通のごあんない

総武線「信濃町」駅下車　徒歩約1分
都営大江戸線「国立競技場」駅下車　A1出口から徒歩約5分

慶應義塾大学病院 ホームページ

http://www.hosp.keio.ac.jp/

専門外来は各ホームページをご覧ください。

専門外来受付
（腫瘍センター内）

1号館3階　案内図

がんに関するご相談

がん相談支援センター

受付時間　平日 9:00～17:00

1. 電話相談
（直通:03-5363-3285）
2. 対面相談（予約制）

がんサポーティブケア

慶應義塾大学病院
〒160-8582　東京都新宿区信濃町35

緩和ケアセンター外来

ホームページ
https://www.hosp.keio.ac.jp/annai/shinryo/palliative-care/

月～土●（全日予約制）

緩和ケアセンター外来では、患者さんやそのご家族が、病気を抱えつつもその方らしく過ごすことができるようにサポートすることを目的として診療を行っております。

治療を進める上で、体や心の状態をできるだけ良い状態に保つことはとても大切です。QOL（Quality of Life：生活の質）を維持するために、がんに伴う痛みや息苦しさの症状緩和、不安や不眠、うつ状態への対応、療養に関する相談などを、緩和医療を専門とする医師、看護師、薬剤師、管理栄養士などがチームになって対応しております。

受診を希望される場合は、担当医にご相談ください。

なお当院には、緩和ケア病棟はございませんので緩和ケアでの入院はお受けすることはできません。ご理解のうえ、受診ください。

・この花はストレプトカーパスといって
私たちのチームシンボルです。
「信頼に応える」という花言葉を持っています。

がんリハビリテーション外来

ホームページ
http://kompas.hosp.keio.ac.jp/contents/000145.html

月～土●8:40～12:00（予約制）

がんリハビリテーション外来では、がんやがん治療による以下のような問題に対応しています。

例：
- 飲み込みづらい、声が出しづらい
- 手や足がうまく動かない、歩けない
- 腕や足のむくみ（リンパ浮腫）
- なかなか体力が戻らない、疲労がち
- 認知機能の障害　など

特に抗がん治療中は、副作用（口内炎、吐き気、下痢、食欲低下など）による身体の負担や気分の落ち込みが生じやすく、あまり動けないことで筋力や体力が低下する悪循環に陥ることがあります。これによる「がん関連倦怠感」（慢性的な疲労感や消耗感）に対して、その時期に適切なリハビリ「運動療法」を行うことが重要であるとわかってきました。「運動療法」は、抗がん剤や放射線の治療中に開始すると、より効果が高いです。

おすすめの運動はウォーキングや自転車エルゴメーターといった有酸素運動と軽い筋トレです。

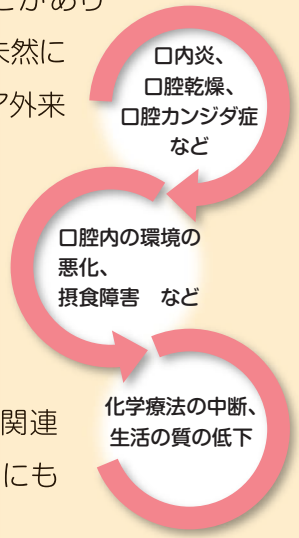
どうぞお気軽にご相談ください。

口腔機能ケア外来

ホームページ
http://kompas.hosp.keio.ac.jp/contents/cat1/cat18/

月～土●（全日予約制）

化学療法を受けている患者さんは、口内炎などの口腔のトラブルが発生しやすくなります。口腔内にトラブルが発生すると、食事がしにくい、口腔内の清潔が不十分になり、その結果、化学療法を続けられなくなってしまうことや生活の質が損なわれてしまうことがあります。そういったことを未然に防ぐために、口腔機能ケア外来では化学療法を受ける前に口腔の診査・診断を行い、口腔内の清潔保持や感染予防に努めます。



また、化学療法開始後も定期的に検診し、口腔関連のトラブルが生じた場合にも対応してまいります。

診療には、専門の歯科医師があたりますので、口腔に気になる症状が出た方だけでなく、口腔管理について相談したい方がいらっしゃいましたら、担当医をはじめとする医療スタッフに気軽にお声をかけてください。